

令和8年度 八軒西小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：27015

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇各種アンケート結果から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最後まで学習に取り組み、『分かった』『できた』という気持ちになる」と答えた子どもの割合が9割強である。 ・「進んで問題を解いたり、考えたりしながら学習している」と答えた子どもの割合が9割強である。
	<p>◇各種アンケート結果から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがある」と答えた子どもの割合が8割弱である。 ・「疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている」と答えた子どもの割合が8割弱である。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇各種アンケートの結果から、「自分はまわりから必要とされていると思う」と答えた児童の割合が多いことがわかる。運動会や学習発表会などの大きな行事では、学年間での「交流による認め合い」を設定しているため、自分の取組に対する自己肯定感の高まりがあると考えられる。ただし、自ら進んで発信・交流したいという気持ちを生むためには、教師による多くの手立てが必要であることから、取組の価値を児童に実感させ、自主的な姿を目指したい。</p>

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら目標を設定し、方法を考え、試行錯誤しながら学びを進めること

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◇研究主題「学ぶことに幸せを感じる子」及び研究副主題「子どもが自走する姿を目指して」の実現</p> <p>(1)学習の場や学習を進めるペースを子どもが選び、決めることができるように、教科書の読み方やノートへの書き方に加え、自分の課題に合わせて取り組む方法など、発達段階に応じた学び方を教える。</p> <p>(2)単元の目標やゴールを明示するとともに評価基準の具体を子どもと共有することにより、子どもが見通しをもって学習を進める力が身に付くようにする。</p>	<p>①自治的な児童活動の充実 →委員会活動やクラブ活動を軸に異学年交流が盛んに行われるように計画・実行していく。</p> <p>②さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進 →パートナー校間で連携することで小中学生が交流できる機会を増やし、各校の特色ある取組に触れて自校に還元できるような仕組みを整えていく。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
	<p>◇主に(1)について、複数のツールの中から適当なものを、児童が自ら選択できるような環境を整備するとともに、各ツールの利点などの特色について事前指導の機会を設ける。</p> <p>◇主に(2)について、Google forms で各自の意見を集約し、子ども一人一人の意見や考えが反映するシステムを生かすことや、パートナー校との連携のために、オンラインミーティングの機会を作り、子ども同士の声をつなげられるようにする。</p>	

<本プログラムの実行に向けて>

